

学芸会

観客を魅了した劇・合唱奏

先日は、保護者の皆様を始め大勢の皆様にご観覧いただき、ありがとうございました。子どもたちは全力で演技をして、練習の成果を十分に発揮する演技を披露することができ、一人一人が充実感や成就感を味わっていました。子どもたちは、目標に向かって一丸となって練習に取り組むことで、友達と協力することや励まし合うことの大切さ、表現することの楽しさや素晴らしさ、仲間とともによりよいものを創りあげていくことの喜びなど、多くのことを感じ取ることができたと思います。学芸会を通して学んだ多くのことを、今後の学校生活に生かしていきたいと思っています。保護者の皆様には、芸術の秋を満喫していただくとともに、お子様の成長を実感された方も多かったのではないかと思います。練習から本番当日まで温かいご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。



【1年：はじめのことは】

【1年：音楽「スマイルキッズメドレー」】



【2年：劇「チーズとねずみたち」】

【3年：合唱奏「とどけよう～この音、この笑顔～」】



【4年：劇「カブニのかくれんぼ」】



【5年：合唱奏「メッセージ～過去・現在そして未来へ」】

【6A：劇「夢から醒めた夢」】



【6B：劇「大どろぼうホツェンプロッツ」～中央小にあらわる～】

【6C：劇「銀河鉄道の夜」】

【おわりのことは：児童会議長】

【学芸会を終えて】（児童の作文より一部抜粋）

1年＜初めての学芸会＞ 【Aさん】 学ばいがかあつたよ。ちよつときんちやうしたけど、すごたのしかつたよ。わたしおもつたよ。やっぱりみんなでうたうときれいな。うたやけんぼんもれんしゆうすればするほどきれいなこえがでるから、わたしはもつとうたやけんぼんがじょうずになりたいな。 【Bさん】 じぶんもみんなもぜんりよく、きょうりよく、どりよくの三つのちからがまもれて、じょうずに学ばいをかあつたよ。よここのときよりも、きよろきよろしている人がすくなくて、わたしはいいなとおもつたよ。たいじょうもよかつたよ。よこえんしゆうでみていない学ねんのげきもとてもおもしろかつたよ。おうちにかえつてとてもよかつたよって、おとうさんにほめられたよ。 【Cさん】 ほくはひとりでせりふをいっただいでいえるかどうかきんちやうしたけど、がんばつていえました。二ねんせいになったら、もつじょうずでセリフをいいたいです。いえにかえつたら、おかあさんにじょうずだったよといわれて、うれしかつたよ。

6年＜小学校最後の学芸会＞ 【Dさん】 僕は学芸会に向けて一生懸命に練習に取り組んできた。友達と一緒に日々楽しく練習をしていくことによって、劇が好きになってきた。劇のクラスの目標、「一生懸命」ということを考えながら家でせりふや動きの練習、全体の仕事のタイミングなどの確認を欠かさなかった。下校のときも友達と学芸会の話しながら帰っていた。学芸会当日、ほくは きんちやうしなかつた。サッカー全日本代表キャプテンの長谷部誠さんが、「きんちやうしたり不安になったりするの、自信がないからだ。いっぱい練習していると自信がついてきんちやうしなくなる。これはサッカーでも他のことでも同じだ。」と言っていた。ほくがきんちやうしなかつたのは、日々一生懸命に練習に取り組んだこととおのずと自信がついていたのかもしれない。劇が終わった後はほくはあせをかいていて、すがすがしい気持ちでいっぱいだった。 【Eさん】 学芸会を終えて、最初に思ったことは、「やりきった」だ。学芸会を通して学んだことの二つ目は、何かを成しとげることの気持ちよさだ。たとえば、なかなか覚えられなかつたせりふを初めて全部台本なしで言えたとときや演技つきでせりふを言えたとときなど、たくさんあつたけど、やっぱり一番は本番を終えたときだった。二つ目は、みんなで協力して何かを成しとげることの大切さだ。何でも一人では何もできないことは分かつていたけど、学芸会で改めてそのことが分かつた。どの場面も、どの役も、照明も音楽も、みんなで協力して劇が成り立っている。計画委員会や代表委員会がテーマを決めたり、テレビ放送で呼びかけたりして、学校全体で「がんばるぞ!」というふんい気をつくつていったからこそ、成功したのだ。他にもたくさん学んだので、今年の学芸会はいい思い出になると思う。